

平成29年4月26日付 熊本日日新聞

地域との交流 積極的に

若者コーナー

地域との交流 積極的に

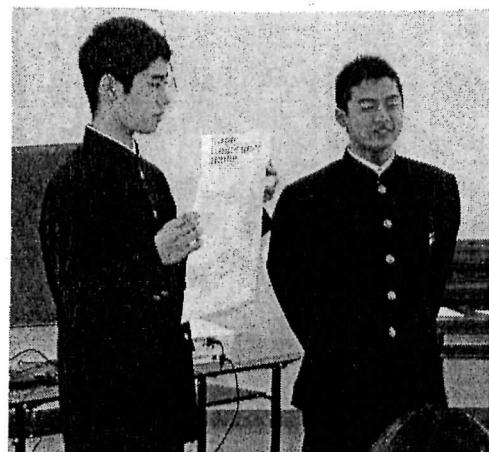
荒木 翔14＝中学生
(荒尾市)

4月4日に荒尾市役所で荒尾市中学校生徒会交流学習会が行われました。初めは少し緊張しましたが、自己紹介や各学校の発表などを聞いている間に緊張は解けました。

僕は他の学校の取り組みを聞いて、地域の方々との交流の必要性について考えました。私たちの学校では桜山クリーン作戦というボランティア活動がありますが、地域の方々との交流がありません。私たち生徒

が毎日安全に登校できているのは地域の方々の見守りがあってこそです。地域の方々の見守りがなかったら、私たちは楽しい学校生活を送れないと思います。日々の感謝の気持ちを込めて、もっと積極的に交流をし、地域の活性化に少しでも協力していきたいです。

いじめゼロ部会では、僕はいじめをゼロにするためのありがとうメッセージ集会や人権集会の取り組みについて発表しました。荒尾でこれからいじめをゼロにするために、日頃の生徒会活動でどうすれば良くなるかを考えていきたいです。



「日々の感謝の
気持ちを込めて
もっと積極的に交流をし、
地域の活性化に少しでも
協力していきたいです。」